



## 仕事も生活も充実させる

教育委員会事務局教育総務課  
餅 茉里子 平成28年度入職  
一般事務職

教育総務課（2年目）

### 現在の仕事の内容、やりがい

入庁以降所属している、教育総務課学務保健係では、就学援助や教育費保護者負担軽減補助金等、学校生活を過ごすにあたりかかる費用の一部を援助する補助金関係の仕事を主に担当しています。特に就学援助では、現代において、子どもの貧困が深刻な社会問題となっている背景もあり、支給方法や制度の見直しなどが頻繁に行われています。

ます。そのような中で、どのような手続き・支給方法が保護者にとって最善かを、国立市の実態を踏まえ、考え実践していくことが必要であるため、やりがいを感じ取り組んでいます。また、転校や入学の手続き、学籍の管理なども行っており、常に学校教育を身近に感じられ、未来を担っていく子どもたちに関わる仕事に携われていることを実感でき、充実感を得られています。

国立市へ入職してから1年が経ちましたが、どんな1年でしたか？また、餅さんは入職を機に上京されていますが、環境や人間関係の変化などで最初は戸惑うこともあったかと思いますが、どのように乗り越えましたか？

入庁した当初は、大学時代の頃の生活リズムとのギャップや、覚えることの多い仕事に対する戸惑いもあり、業務に取り組むこととにたく必死でした。また、入職を機に上京した為、環境や人間関係の変化に悩むこともありましたが、同期との交流や、先輩職員に声をかけていただいたことにより、仕事と生活に徐々に慣れていき、今では、生活面を充実させて仕事への活力を養うことで、業務をより質の良いものにしようと



上司に相談しやすい雰囲気です。

いう向上心を持って仕事に取り組めるようになりました。

同期や先輩、国立市役所の雰囲気はどうか？

同期は前職がある方をはじめ、様々な経験をされている方がいるため、刺激を受けることが多くあります。入庁当初から飲み会や、休日に遊びにいったりもしています。時には仕事の話聞いてもらうなど、とても頼りになり心強い存在です。上司や先輩には、助けていただくことも多く、仕事以外のこと話さずにはいられません。たくさんの方が様々な場面で声をかけてくださるので、国立市役所は仕事をする上でも、とても心地が良い雰囲気だと感じています。



同期と楽しくランチをしています。



同期はとても頼りになる心強い存在です！



今年は後輩として新入職員も入ってきましたが、変化したことや、後輩への伝え方で意識していることなどがあれば教えてください。

初めての後輩もでき、身の引き締まる思いです。業務を指導する際は、その業務を行う根拠から伝えるように心がけています。しかし、自分自身、確立できていない知識や業務も多いので、先輩として自信をもって後輩を指導できるよう、勉強を積み重ね知識を充実させていき、理解を高めたいと思っています。そして、互いに刺激しあい、日々ともに成長していけるような先輩・後輩関係をつくり上げていきたいです。



入職時わからなかったことや不安だったことを思い出しながら、後輩からの相談にのっています。

#### ある1日のスケジュール

8:00 出勤 机周り等の整理 8:30 始業 メール等のチェック、窓口対応、補助金申請書類の確認 12:00 昼休憩 13:00 学校からの提出書類を確認、窓口対応 15:00 就学援助申請書の確認、システムへ登録、支給事務 17:15 退庁



#### 日々感謝の気持ちを忘れない事

高齢者支援課

山路 直子 平成18年入職

一般事務職

児童課(2年) 職員課(5年6ヶ月) 収納課(3年) 熊本県熊本市へ派遣 建築営繕課(6ヶ月) 高齢者支援課(1年目)

#### これまでの仕事、現在の仕事の内容

現在は高齢者支援課地域包括支援センターで事務職として働いています。高齢者の方の

相談業務や訪問が中心の職場で、今までのデスクワーク中心の職場とは環境が異なり、新鮮な気持ちで仕事ができています。

入職した頃は、主にひとり親家庭の方への手当を担当していました。最初は窓口や電話対応に戸惑うことが多く、法令や予算の仕組みも全く理解していなかったので、周囲

の方に迷惑をかけっぱなしでした。あの頃たくさん残業して取り組んだ事がその後の糧になっています。

部署によって仕事内容や雰囲気は全く違うので、様々な仕事を経験できる事は魅力の一つだと思います。



同僚と打ち合わせをして、漏れの無いように注意しています。

プレスレットは認知症サポーター（ ）の目印です。

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。友人などに認知症についての知識を伝える、街で認知症の人を見かけた際に手助けするなど、できる範囲の活動を行います。認知症サポーターには、認知症を支援する「目印」として、プレスレット（オレンジリング）をつけてもらっています。



平成28年4月に発生した熊本地震に伴い、熊本県熊本市へ半年間派遣され、この4月に国立市へ戻られましたが、派遣期間中の様子や派遣をとおして得たものや感じたことなどを教えてください。

熊本市では、被災住宅の修繕に補助金を出す仕事に携わっていました。業者不足から、期限内に工事が終わらない事も多々あり、復興はまだまだ長い道のりだと感じました。実際に被害の甚大な場所に行き、地震の恐ろしさを目の当たりにした時は、大きなショックを受けました。市民の方や熊本市の職員の方から、当時の状況を聞く機会も度々あり、自治体が今後どういう災害対策をとるべきか考えるようになりました。

全国から延べ約100人の派遣職員が業務にあたっていて、職種も事務、建築、設備と様々でした。東日本大震災の発生当初の業務を経験された方もいて、仕事の取り組み方等学ぶ事が多々ありました。国立から遠く離れた地で仕事をすることで、国立市の良い所や改善した方がいい所も見えてきました。

また、熊本市の職員の方々が多忙な中でもとても温かく迎えてくださったおかげで、馴染みのない土地でも不安を感じる事なく業務に取り組むことができました。本当に感謝しています。

全国の自治体職員と復興業務に携わった経験と縁を今後も大切にしていきたいです。

仕事をする上で、意識をしていることはありますか？

自分が周りの方に支えられて仕事をしている事を忘れないよう心がける事だと思います。

過去を振り返ると反省や失敗ばかりですが、今も仕事が続けられているのは、たくさんの方に支えていただいているおかげだと思っています。

国立市の魅力はどんなところだと思いますか？

街並みが好きです。大学通りとか、こじんまりした雰囲気も好きです。職員は当たり前かもしれませんが、とても真面目で一生懸命仕事に取り組まれている方が多いように感じます。

仕事で悩んだ時は、職場に助けてくれる方が必ずいると思うので、一人で抱え込まず、すぐに相談してほしいです。

ある1日のスケジュール

8:20 出勤、メールのチェック 9:00 係内の打ち合わせ（毎朝） 10:00 関連部署とシステム導入について打合せ 12:00 ランチは外へ出かけます。 13:00 契約業務 14:00 地域窓口会議。市内にある3窓口と情報交換 15:15 システム業者と打合せ打合わせの合間に・・・

システム導入関連業務、経理、書類作成等の事務

17:00 明日の仕事内容を確認 17:15 退庁



**誰のために仕事をしているのか常に問い続けること**

政策経営部政策経営課政策経営係長  
養島 紀章 平成18年度入職  
一般事務職

総務課（5年）主任昇任 防災課（5年）  
係長昇任 政策経営部政策経営課政策  
経営係長（2年目）

これまでの仕事、現在の仕事の内容

最初に配属されたのは総務課契約係です。物品の購入や工事などを発注するため入札などを行いました。

入職後初めての職場にも関わらず、大きな案件も任せてもらったり、制度改正などに携わったりと勉強になりました。

次に防災課（現在の防災安全課）に異動となり、消防団の事務局業務、災害対策などの業務に携わりました。東日本大震災の直後だったため、被災地への短期の応援や避難者の支援といった経験もできました。防災では、消防団や自治会・町内会、自主防災組織の方々をはじめ、多くの市民の方々と一緒に仕事をする機会があり、貴重な財産となりました。また、地域防災計画の改訂や国民保護計画の策定、事業継続計画の策定など行政に内部に横断的に関わる業務にも携わることができました。

現在は、昨年から政策経営課政策経営係へ異動となり、政策的な事業の予算調整や進捗管理、全庁的な調整などが主な業務となっています。各事業の現場から遠くなるため、事業が具体的に誰にどのような効果があるのかといったことや、多角的な視点で見てその事業が本当に必要かどうかを判断することなどに苦労しています。



市長・副市長・教育長と全部長が出席する会議の資料を整え、円滑な会議の進行に努めています。

昨年係長に昇任されましたが、係長になる前と比べ変わったことや仕事を行う上で意識していること、今後の展望などについて教えてください。

係長になって特に意識することは、個人ではなく、係としていかに成果をあげるかということです。係員の得意・不得意や、その時の業務量などを見ながらどのように仕事を割り振ればより良い結果が出るかを考えています。昨年は異動初年度だったこともあり、仕事をまわしていくことで精一杯でしたが、今後は、係員の能力向上や育成を図ることも大切だと思いますので力を入れていきたいです。



部下等と都市間交流のプロジェクトチームについて活発な意見交換をしています。

昨年は二人目のお子さんも生まれ、育児休業も取得されていましたが、育児休業を取得された感想や周りの反応等があれば教えてください。

育児休業は2週間取得しました。2人目の子どもだったので、育児には慣れていましたが、子どもと触れ合う時間が多く持てたことが良かったです。職場に対しては、業務上負担がかかるにも関わらず、積極的に育児休業を取得することができましたので、大変感謝しています。育児休業のほかにも、出産に関して休暇を取ることができます。引継ぎをしっかりとすれば取得できると思いますので、是非取得をおすすめします。子ども

にとっての親は自分しかいないのですから。

女性はもちろん男性の子育ても応援しています！

- 先輩職員がすでに複数名取得！男性の育児休業、育児部分休業
- 配偶者の出産にあたり取得できる出産支援休暇、育児参加休暇
- 子の看護や予防接種のために取得できる子どもの看護休暇は、中学校就学前まで取得可能



### 国立市を選んだきっかけ、国立市の魅力

たまたま学生時代に国立市に住んでいたことがきっかけです。縁あってというところでしょうか。

国立市は小さい市であることから、職員一人ひとりに任されている業務の範囲が広い  
ため、業務の全体を見ながら自分で新たな企画や改善をすることができます。係長以下  
の職員がやりがいを持って仕事ができる環境にあります。

### ある1日のスケジュール

8:20 出勤。メールなどのチェック、決裁の合議など 8:30 始業 10:00  
庁議に事務局として出席 12:00 昼休み 13:00 施策評価会議を開催。会議の  
進行を行う。 15:00 庁内の連絡会議に出席 17:15 終業



様々な経験、経歴がある職員が  
集うダイバーシティな職場を

政策経営部市長室長

吉田 徳史 平成21年度入職

一般事務職

く にたち中央図書館（1年4ヶ月） 福祉  
総務課（4年3ヶ月）入職3年目で主任昇任  
係長昇任 福祉総合相談準備担当係長  
（3ヶ月） 福祉総合相談係長（1年5ヶ月）  
男女平等・人権・平和担当係長（1年9  
ヶ月） 課長昇任 市長室長（1年目）

### これまでの仕事、現在の仕事の内容

平成21年に入庁し、最初は教育委員会中央図書館に配属、児童図書の担当として図書の貸し出しや子ども達への読み聞かせなどの業務を担当していました。その後、福祉総務課相談保護係に異動し、生活保護のケースワーカーとして勤務、そして、同じ福祉総務課内に福祉総合相談係を新設することとなり、係長として立ち上げを経験させていただきました。その後、現在の市長室に異動になり、男女平等・人権・平和担当を経て、今年4月から現在の職に就いています。

現在の仕事は、秘書、広報、男女平等・人権・平和、そしてこの4月から女性相談が加わり、4つの係を所管しています。どの業務も市の根幹を支える重要な業務だと思っています。市長室という仕事柄、市長や副市長との確認事項が多く、迅速且つ状況に応じた判断が求められる部署です。

この4月から、課長職に昇任されましたが、仕事をする上で意識していることはありますか？

室長として心掛けていることは、11名の職員と嘱託員の方々とできるだけ多くのコミュニケーションをとることを大切にしています。

そのために「足をつかう」ということを意識しています。市長室は各係が離れた位置に配置されています。仕事において電話や内線、メールを使えば効率的に用件を済ませることができますが、なるべく自分から足を運び職員の表情などを見て話すことで用件だけではない事が気付いたりできます。「ちょっと忙しそうだな」「何か困った事がありそうだな」ということが分かる事もあるので。

庁内の他部署に用がある時でも同様に歩き回っています。その結果、私はいつも席に居ないと言われてしまうこともあるのですが・・・。

部下への指導や配慮していること

部下というよりは、同じ目標に向かう仲間であるという意識で臨んでいます。

その中で、一人ひとりの職場における立場や役割が当然のように違います。また、個人として仕事への動機や目標も違います。そのことを理解して接していくことが大切だと思っています。さらに、仕事だけでなく生活面や家族の状況などの私生活の部分も含めて、理解し気遣ってあげられる管理職になれたらと思っています。

私が地方自治体の職員として大切だと思う事は、自分の身近な人の事をきちんと考えられる、気遣える事だと思います。それは家族であったり、友人であったり、職場においてはすぐ隣で働いている仲間だと思います。身近な人の事を考えられなければ、市民の方の事を思い考えることはできないと思うからです。



市長室では、日々市民の目線に立ち、やりがいをもって仕事をしています。

福祉総務課へ在籍されていた際に、他課も巻き込んで福祉関係自主勉強会を実施し、職員表彰されるなど、常に向上心を持ってお仕事をされている印象があります。そんな吉田さんからみた国立市役所の雰囲気はどうですか？

福祉関係自主勉強会( )は、過去に先輩方が取り組んでいたもので、しばらく休止をしていたものを同年代の職員と話し合い新たな内容を加えて再開したものです。このような取り組みを認めてもらい、さらに参加したいという職員、嘱託員の方が多く集う活気が国立市役所にはあると思います。職員表彰制度も同様ですが、職員の意見やアイデアを取り入れようとする雰囲気はモチベーションの向上にとっても良いことだと思います。

福祉関係自主勉強会：庁内各部署の連携強化と業務に関するテーマについて、討議等で内容を深め、業務への反映目指すこと等を目的に福祉関連の部署を中心に有志で定期的に勉強会を実施した取り組み。（平成25年度職員表彰制度部門賞）

#### 【職員表彰制度】

業務改善、提案活動等を推奨し、職員の意識改革及びモチベーションの向上を図るため、日頃の仕事の成果や業務改善の取組、市政に関する提案などを審査の上、優秀なものについて表彰する制度。取組や提案の中から、大賞、部門賞（市民サービス向上、コスト削減、歳入増加、事務改善、協働・連携、提案の6つの部門）、特別賞、奨励賞、市長特別賞が選ばれる。

過去に表彰された取組について一部紹介

～平成28年度～

大賞：「くにたち子どもとお散歩Book 0.1.2」の発行・「くにたち子育て応援アプリ」の配信

・子育て中の保護者の方々の視点を取り入れた「お出かけ時に持ち歩ける情報誌である「お散歩Book」の発行や、子育てに役立つ情報を若い世代が手軽に入手できる「子育てアプリ」の配信により、市民サービスの向上が図られた。

歳入増加部門：「くにたち未来寄付」返礼品における「ドローン」の導入

・国立市のふるさと納税制度「くにたち未来寄付」において、50万円の寄付に対する返礼品として市内企業よりドローンの提供を受けることができた結果、寄付額は過去最高額を達成し、大幅な歳入増に結びき、さらに、同社との間に災害時のドローン利用について協定を締結するに至った。

～平成27年度～

大賞：「くにたち原爆体験伝承者プロジェクト」をはじめとする平和事業の充実

・被爆地以外では初の取組みとなる原爆体験の伝承者育成をはじめとした多様な平和事業の展開は、海外メディアにも取り上げられるなど国立市の平和に対する取組みを国内外に発信することができた。

コスト削減部門：情報セキュリティ監査方法の改善

・情報セキュリティ監査の改善について、新たな費用負担を発生させることなく、創意工夫により新たなセキュリティ監査計画を考案した取り組み。情報公開及び個人情報保護審議会より従前から要請のあった情報セキュリティ監査の改善について、新たな費用負担を発生させることなく対応した。



## 国立市の魅力

国立市といえばコンパクトな街という印象があると思います。

自治体の職員としてこのメリットは、少し足を運べば市内のあらゆる場所を見ることができ、色々な方と出会うことができるということです。自分の担当する業務以外に目に入るもの、耳にするものがあります。また、市役所も同様に職員規模も他市に比べて大きくありません。その分、他部署の仕事の様子や職員同士の顔がよく分かります。あれもこれもやってみたいという欲張りな方にはうってつけの自治体です。

### ある1日のスケジュール

8:30 資料作成等の事務 10:00 課内の朝礼 10:30 平和事業打ち合わせ  
11:00 メールチェック、決裁などの事務処理 13:00 秘書事務 14:00 庁内の会議  
16:00 広報打ち合わせ 17:15 終業

平成28年度入職市川さん

吉田室長

1年間一緒に仕事をしてみて・・・

### 吉田さんより、市川さんへ

市川さんはとにかく積極性の塊です。人と出会うこと、人と話すことを楽しいと感じられる人だと思います。新しい事に果敢に挑戦する姿勢は1年目とは思えませんでした。また、仕事に関しよく調べ、勉強し自分の言葉で説明する力があるなと思います。

一緒に仕事をしてきた1年間、時には共に準備不足によって対応を失敗した経験もありました。しかし、イベントの前など、どうしたらさらに良くなるか一緒に考え、アイデアが出た時、イベントが成功した時の喜びを共有できたことは私にとっても貴重な経験でした。良き相棒として一緒に仕事をさせてもらえたことを感謝しています。きっと将来的に市の核になっていく存在だと思って期待しています。

国立市は他市と比べて、コンパクトであること、職員同士のコミュニケーションがとりやすい、シヨックのほかに、雰囲気もアップと部下の関係性も近いです。

平成28年度入職  
政策経営部市長室  
市川 綾子（2年目）



### 市川さんより、吉田さんへ

とても人間力と創造力がある上司です。相手の心に働きかけて、人を動かしていく力がある方で、共に仕事をさせていただくなかで大きな刺激を受けました。

同じ部署で仕事をさせていただいた間、様々なイベントや企画等を行いました。より良いものを目指してアイデアを出し合ったこと、納得出来る内容となるまで議論を交わしたこと、事業が成功したときの喜びを共有できたことはとても貴重な経験で、今の私自身の身となり力となっています。